



環境活動レポート



対象期間：2019年 4月 ~ 2020年 3月

発行日：2020年 4月 8日



株式会社 オーミヤ

目次

1.環境方針

2.事業内容

- 1) 会社概要
- 2) 環境経営体制図

3.環境目標

4.環境活動計画

5.環境活動結果及び評価

- 1) 活動内容と取り組み評価
- 2) 実施状況

6.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

7.経営者の環境活動に対する評価と見直しの結果



1.環境方針

【環境理念】

地球に優しい、100年先の未来にも誇れるものづくり、ひとづくりを行う。

【環境方針】

- 1.環境のことを最優先に考えられるひとづくりのため、社員教育を実施する。
- 2.資源の循環を理解し、リサイクルを徹底する。
- 3.地球環境に優しいものづくりのため、不良を削減する。
- 4.不要なゴミを削減するため、日々継続的に環境システムを改善する。

2019年 4月1日 制定
代表取締役 道野弘樹



2.事業内容

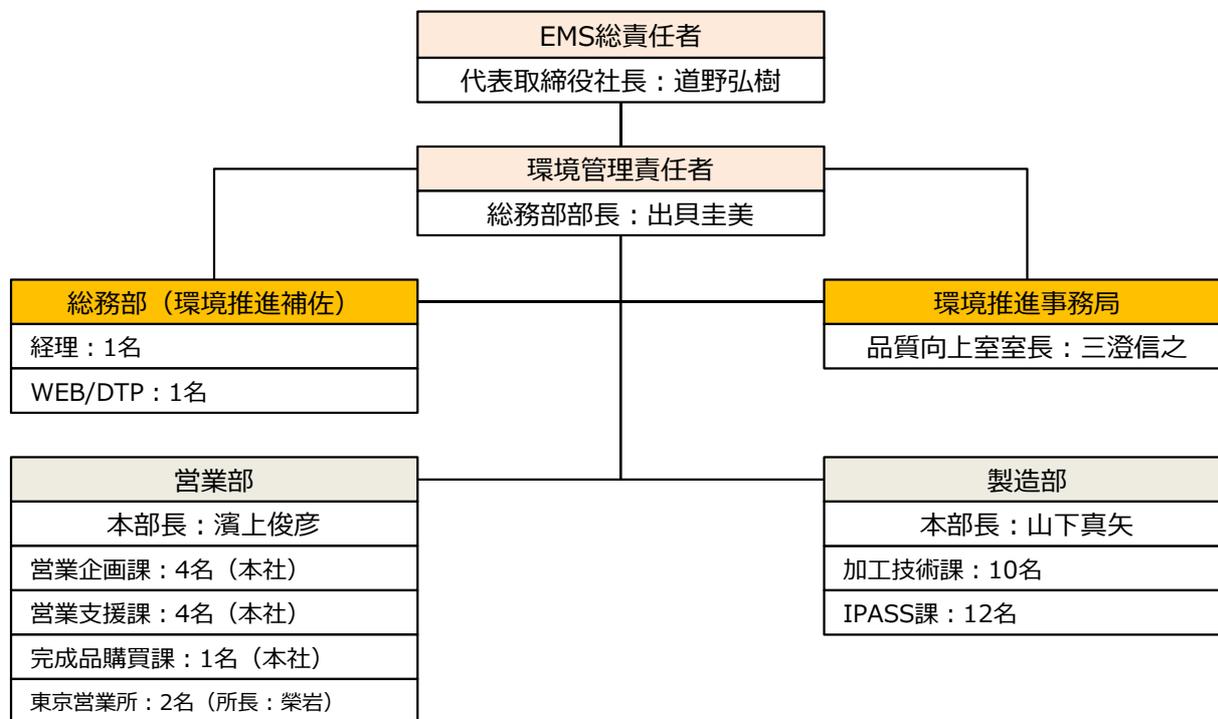
1) 会社概要

- ◆事業所名 株式会社 オーミヤ
- ◆所在地（本社・工場） 大阪府 東大阪市 水走 3丁目5番10号
- ◆所在地（東京営業所） 東京都 豊島区 池袋本町 4丁目29番5号
- ◆資本金 3,000万（2019年3月増資）
- ◆環境管理責任者
- ◆連絡担当 e-mail 三澄 信之 nmisumi@ohmiya.co.jp
- ◆連絡先（本社・工場） [TEL:072-962-3661](tel:072-962-3661)
[FAX:072-964-0227](tel:072-964-0227)
- ◆連絡先（東京営業所） [TEL:03-6907-2010](tel:03-6907-2010)
[FAX:03-6907-2011](tel:03-6907-2011)
- ◆ホームページ <http://ohmiya.co.jp>
- ◆企業コンセプト 継手・ノズル・ミストで実現できる、人々のより良い暮らしを売るメーカー
- ◆適用範囲 本社・工場
東京営業所



2.事業内容

2) 環境経営体制図 (案)



当社は環境管理責任者・推進事務局・各部にて構成しフォローするとともに、代表取締役の評価を経て継続的な活動に努めています。

役割	責任と権限
EMS総責任者 代表取締役社長	* 環境方針の策定と全従業員への通知
	* 環境管理責任者の任命
	* 運用に必要な人材、設備、費用、時間の準備
	* 全体の取り組みの評価と見直し（環境システムのレビュー）
環境管理責任者	* 環境活動の取り組み結果を社長へ報告
	* 一般的な教育の計画と実施
環境推進事務局	* 環境データの集計と取りまとめ
	* 環境関連の文書作成と記録
	* 外部からの環境に関する苦情や要望の受付と対応
	* 環境活動実績把握
各部門長	* 自部門の環境活動の管理
従業員	* 環境方針の理解と環境に対する取り組みの重要性を認識
	* 決められた事を守って、積極的に環境活動へ参加

3.環境目標

環境方針を踏まえ、下記に5項目の環境目標を設定した。

削減目標は2019年度を基準に毎年1%削減での設定

目標項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年
二酸化炭素排出量削減※1	kg-CO2	-	64,918	63,620	62,970	62,321
電力消費量削減	KWH	-	194,365	192,421	190,497	188,592
二酸化炭素排出量削減※1	kg-CO2	-	21,557	21,126	20,910	20,695
ガソリン消費量削減	L	-	9,292	9,199	9,107	9,016
産業廃棄物排出削減						
事務資材消費量削減 リサイクルの有効活用	kg					
製品不良率※2	%	-	20.4	20.2	20.0	19.8
グリーン調達	品	-	-	-	-	-
会社周辺の清掃	回	-	12回	12回	12回	12回

※1 二酸化炭素排出量は、H30年度 電力の係数=0.334kg-CO2/kwhを基に算出

※2 製品不良率は不良ロット数に対する割合

熱中症 〇化計画

大切な家族や仲間を熱中症から守る

1番高温の地表温度を下げる
新しい熱中症対策

COOL BEAM

気温 30°C

体温 36°C

地表温度 55°C

4.環境活動計画

目標項目	活動項目	具体的な取り組み内容	担当部署
二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減	エアコン設定温度（冷房27℃ 暖房21℃）	総務
		PCや照明機器の不要時の消灯（事務所）	総務
		不要照明の消灯・残業削減（工場）	製造
	ガソリン消費量削減	アイドリングストップ。急発進・急停止の禁止	営業
		納品・配達ルートの見直し	営業
産業廃棄物削減	事務資材消費量削減	コピー用紙両面使用・封筒の再利用	総務・事務
	リサイクルの有効活用	運送パレット・ダンボールや新聞紙の再利用	製造
製品不良率	不良率削減	製作刃物の耐久性を検証し、破損予防	製造
		材質特性を把握し製作内容を材質に沿って変更	
グリーン調達	グリーン購入推進	事務用品のグリーン購入検討	総務
会社周辺の清掃	5s活動	月一回の5s活動日に実施	全部署

5.環境活動結果及び評価

1) 活動内容と評価

電力CO2排出係数：0.334kg-CO2/kwh

ガソリンCO2排出係数：2.32kg-CO2/kwh

目標項目	単位	基準値 2019年度	2020年度			状況
			目標	結果	削減率	
二酸化炭素排出量削減※1	kg-CO2	64,918	64,269			
電力消費量削減	KWH	194,365	192,421			
二酸化炭素排出量削減※1	kg-CO2	21,557	21,341			
ガソリン消費量削減	L	9,292	9,199			
産業廃棄物排出削減						
事務資材消費量削減 リサイクルの有効活用	kg					
製品不良率※2	%	20.4	20.20			
グリーン調達	品	-	-		-	
会社周辺の清掃	回	12回	12回		-	

目標項目	取り組み評価
二酸化炭素排出量削減※1	事務所エアコンの新規導入・照明をLED化により削減
電力消費量削減	
二酸化炭素排出量削減※1	無理な急発進・急ブレーキの抑制の為、ドライブレコーダー全車装備
ガソリン消費量削減	
産業廃棄物排出削減	木材パレットは材料メーカーと再利用する仕組みを構築 海外仕様の木材パレットは処理の仕組みを別途構築
事務資材消費量削減 リサイクルの有効活用	
製品不良率※2	環境取り組み初年として基準値設定
グリーン調達	
会社周辺の清掃	月12回の社内5S活動と平行し近隣清掃を実施。

5.環境活動結果及び評価

2) 環境活動実施状況

◆節電の呼びかけ

❖エアコン設定温度と節電対策を設け、電力消費の削減に努めています。



◆防災訓練の実施

❖緊急時に備え、消防署の協力のもと 消火器の使用法などの防災訓練を実施しています。



2) 環境活動実施状況

◆社外清掃の実施

❖弊社では、本社工場周辺の清掃を定期的の実施しています。



◆エコドライブの呼びかけ

❖営業全車両にドライブレコーダーを設置し危険運転の抑制と車間距離にゆとりを持った安全運転を実施



6.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

◆違反、訴訟等

- ❖関連法規制の違反はございませんでした。
- ❖関係からの指摘も無く、訴訟もございませんでした。

株式会社 オーミヤ

環境管理責任者 出貝圭美

7.経営者による環境活動に対する評価と見直し



振り返りと次年度に向けて

今年度は夏場の稼働時間が少なかったため、デマンド計がオーバーするような電力の使用はなかった。一方で次年度から、工場2Fは暑さ対策のため空調設備を導入する。スポットクーラーは不使用になるが、この冷房使用による電力の上昇の監視は次年度の課題になる。

また本年は木材パレットのリサイクル活動を推進。小型木材パレットを使用する材料メーカーとは打ち合わせの上、リターンし再利用する仕組みを構築。またそれでも発生する海外からの木材については、別途木材パレットのみの廃棄処理を実施。環境負荷の低減につながっている。

海外から入ってくる木材パレットについては、代替となる梱包費用が高価なため当期は見送り。

継続して安価にリサイクル可能な梱包形態を模索する必要がある。

また社内でeco検定の受験を推進したことで、社内のeco検定保有者が10名を超えた。

しかしこども、社員間の意識のギャップがあり製造現場では空き缶、ペットボトルがリサイクルされずにゴミとして処理されている場面が見られているため、改めて意義を説明し、全社員が一丸となったリサイクル活動にする必要がある。

総じて、来期は「リサイクル可能な梱包の見直し」、「継続的な電力の監視」、「社員教育の充実」の3本軸で環境活動を行う必要がある。

株式会社 オーミヤ

代表取締役 道野弘樹